

Expand Your World

子どもたちが自らの世界を広げ、
力強く輝いてほしいという
願いがこめられています。

3号



個人面談にご協力いただき、ありがとうございました。

お話をすることで、多くの保護者の皆様が家庭学習にご協力くださっていることが伝わり、大変心強く感じました。ここでは、面談で多く寄せられたご質問についてまとめてお伝えいたします。

1. 家庭学習の考え方

家庭学習の習慣は、ぜひ身につけておきたい力の一つです。低学年のうちから家庭学習に取り組むことで、高学年になり学習内容が難しくなっても、無理なく学習量を増やすことができます。まずは、習慣をつけることが大切です。極端なことを言えば、はじめは5分からでも構いません。「これだけでいいの?」と思えるくらいの量から始め、負担なく取り組めるよう、少しずつ進めていくことが大切です。

例えば、次のような学習がおすすめです。

- ・漢字プリント1枚
- ・暗算検定プリント1枚（または半分）
- ・1行日記（今日あったことを書く）※少しずつ

「日記は難しい」と感じる場合は、短い文章から始めてみてください。まずは無理なく続けることが、習慣づくりにつながります。

高学年になってから家庭学習を始めようとする、負担が大きくなり、継続が難しくなることがあります。そのため、低学年の今の時期から、机に向かって学習する習慣を身につけていくことが大切です。将来、自分で考えて学習を進める「自立・自律した学習者」へと成長することを目指しています。

なお、家庭学習の目安は「学年×10分」と言われています。

ご家庭での声かけのポイント

「全部あったね」「〇分でできたね」と結果をほめるだけでなく、

- ・集中して取り組んでいたね
- ・最後までよくがんばったね
- ・あきらめずに挑戦できたね

など、学習に向き合う姿勢を認めてあげてください。このような言葉かけは、子どもたちの自信と意欲を育てます。ご家庭と学校が連携しながら、子どもたちの成長を支えていければ幸いです。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今週のコマ 体育 体づくり運動 国語 ふきのとう 動作を入れて音読の様子

※2年生では、体を動かしながらの活動を多く入れています。



Wonder Farmer Project はじまっています

自分たちで野菜を育て、SOLANの自然をより豊かにしていこうとする「Wonder Farmer Project」がスタートしました。

写真は、子どもたちがプロジェクト全体の計画を、自分たちで考えている様子です。

このプロジェクトの授業では、次の2つを大切にしています。

- 1 みんなで力を合わせて取り組むこと
- 2 一人ひとりが自分のよさを生かして活躍できること

子どもたちには、活動の見通しをもって取り組むことの大切さや、友だちと協力することで、一人ではできないことも実現できる喜びを感じてほしいと考えています。

また、このプロジェクトを通して、自分の興味や関心を広げたり、「自分はどんなことが好きなのか」「どんなことが得意なのか」に気づいたりするきっかけになればと願っています。

